

.....

|                 |                                                                                                                          |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリ                                                                                                                      |
| 2. 体験した事例の名称    | 興奮した自殺企図者（傷病者）が救急隊に危害を加えようとした事例                                                                                          |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 自殺企図者の運転する車両に救急車を接近させたところ、救急車に車両を衝突させようとする。また、傷病者を確保し車内収容する際に暴力的態度（暴れる、殴り蹴りかかろうとする。）に及ぶ。刃物を所持しており、状況によっては隊員が刺される可能性もあった。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 興奮している自殺企図者に対する危険認識の甘さ。精神不安定な傷病者を興奮させるような隊員の態度、言動。                                                                       |

.....

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

.....

|                                      |                           |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時                              | 平成 21 年 3 月 22 日 午前 3 時頃  |
| 2. 発生した当時の天候                         | 曇                         |
| 3. 発生した活動現場                          | 屋外：大型店舗駐車場                |
| 4. 体験した事例の種類                         | 他人が、回答者を負傷させた。            |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場<br>合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。     |
| 6. どのようなことが起きたのか<br>（起きそうになったのか）     | その他：加害                    |
| 7. 事例体験時の活動                          | 救急現場到着、現場活動初期、現場活動中期、 [ ] |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか         | 応急処置、車両への収容、その他：現場接近時     |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの<br>程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。                  |

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                        |                                                                                         |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者 A                 | 年齢[ 51 ]歳、 勤続年数[ 29 ]年、 現場経験年数[ 28 ] 年、 階級[ 消防司令 ]、<br>同様の活動 [ 数年に 1 度程度 ]、 任務 [ 車長 ]   |
| ○当事者 B                 | 年齢[ 37 ]歳、 勤続年数[ 19 ]年、 現場経験年数[ 18 ]年、 階級[ 消防士長 ]、<br>同様の活動 [ 過去に 1, 2 回程 ]、 任務 [ 機関員 ] |
| ○当事者 C                 | 年齢[ 21 ]歳、 勤続年数[ 1 ]年、 現場経験年数[ 半 ]年、 階級[ 消防士 ]、<br>同様の活動 [ ], 任務 [ 隊員 ]                 |
| その他<br>(当事者が 4 人以上の場合) | 応援部隊 4 名                                                                                |

## 11. 事例発生経過。

|       | 誰(何)が | なにをした                | その他・備考など |
|-------|-------|----------------------|----------|
| 経過 1  | 傷病者が  | 救急車に自分の車を衝突させようとした   |          |
| 経過 2  | A B が | 興奮している傷病者を拘束しようとした   |          |
| 経過 3  | 傷病者が  | 救急隊員、消防隊員に危害を加えようとした |          |
| 経過 4  |       |                      |          |
| 経過 5  |       |                      |          |
| 経過 6  |       |                      |          |
| 経過 7  |       |                      |          |
| 経過 8  |       |                      |          |
| 経過 9  |       |                      |          |
| 経過 10 |       |                      |          |

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。避難・退避がうまくいった。指揮者が適切に指示した。後方からの監視の目が行き届いていた。他隊(員)から適切な注意を受けた。たまたま、負傷事故にならなかった。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | はい |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | はい |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | はい  |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | はい  |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | はい  |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | はい  |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | はい  |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | はい  |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |    |
|----------------|----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。    | はい |

○その他

l. その他の理由があった。

|                               |
|-------------------------------|
| はい：精神異常者等に対する危険認識不足。警察との連携不足。 |
|-------------------------------|



救急車に向かって急にバックし、衝突させようとする



大型店舗



診療所